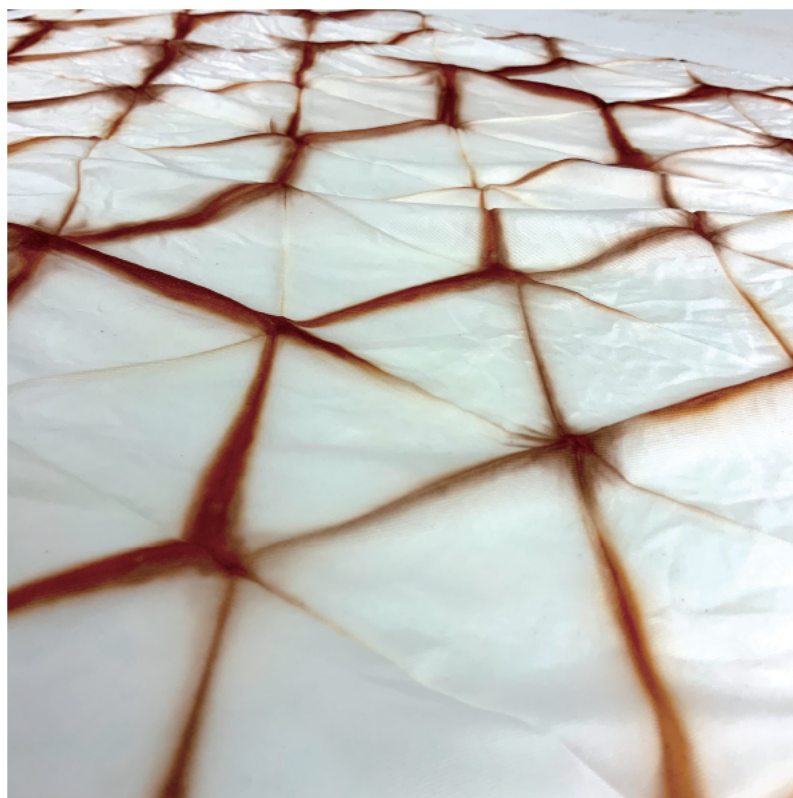


福島復興支援 川俣町 × 近畿大学 project
かわまたシルクとアンスリウム染め

remember

近畿大学文芸学部芸術学科造形芸術専攻染織ゼミ作品展



2022.11/3(木・祝)～2023.1/9(月・祝)

9:00～17:00 (入館は 16:30 まで) 休館日: 毎週月曜日※祝日の場合は翌日・年末年始 (12/29～1/3)

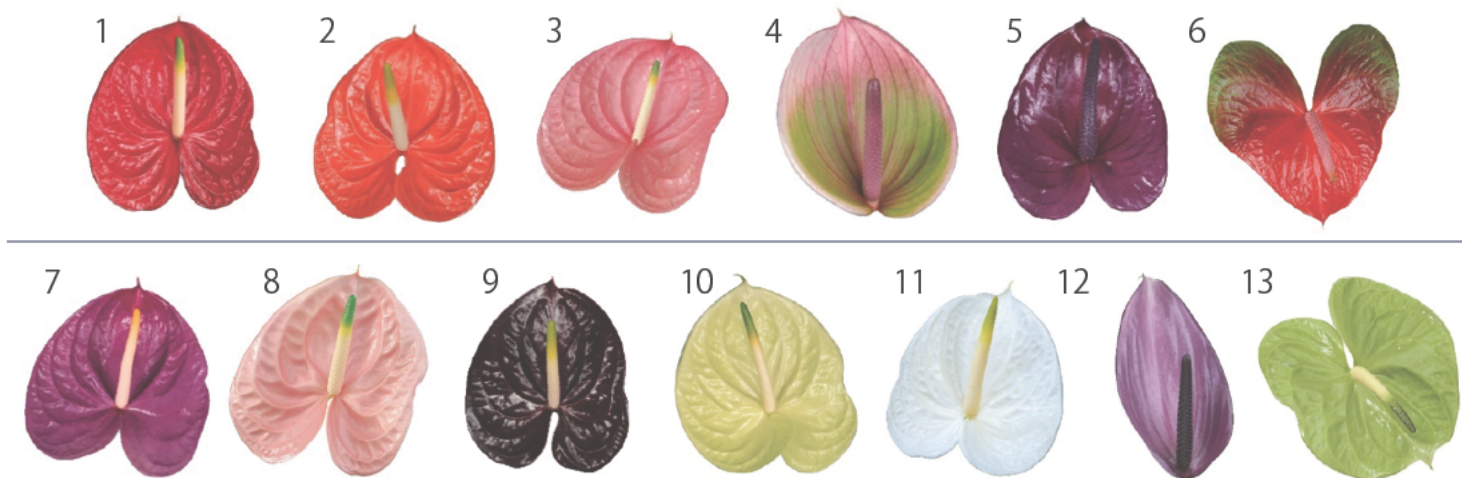
かわまたおりもの展示館 (道の駅川俣施設内)

■主催: 川俣町 ■協力: 近畿大学・川俣町ポリエステル媒地活用推進組合・福島県織物同業会

○かわまたアンスリウム

Anthurium

1.アリーナ 2.サフラン3.ローザ 4.ベルツツィ 5.ユタ 6.スパイス7.ロゼッテ
8.チアーズ 9.ショータイム10.マレーシア 11.エンジェルズ12.プレビア13.ミドリ



気候が生み出す鮮やかな発色と驚異の品質

アンスリウムは熱帯が原産で、暑さに強く寒さに弱い常緑多年草です。国内流通の95%を海外からの輸入に頼っており、国産は一部の県で僅かに生産されています。川俣町では、最新の栽培技術により安定して生産することに成功しました。独自の管理を施したハウス栽培により、通常のアンスリウムを超える鮮やかさと類稀な大きさを実現。寒暖の差を利用することで、茎は太く丈夫に育成し驚くほど経年変化に強い品種となっています。今後は増産体制を整えて、みなさまのお手元に安定的な供給ができるよう準備を進めています。「かわまたアンスリウム」を復興の花として、その魅力を発信していきたいと思ひます。

ポリエステル媒地の採用と近畿大学の継続的な支援

古着などをリサイクルして作られた、スポンジのような手触りのポリエステル地を採用。土を使わずに液肥で作物を栽培するため、土壌汚染とは無縁で風評の影響を受けにくいという特徴があります。また肥料の調整など育成のコントロールがしやすく、出荷調整が容易で連作障害が起きにくいなどのメリットがあります。これまで川俣町と近畿大学(大阪)がポリエステル媒地を用いて共同で試験栽培を行ってきましたが、大田花き(東京)による試験流通を経て市場での評価を確実なものにしています。2017年に「ポリエステル媒地活用推進組合」が発足し、本格的な事業化に向けて動き出しています。近畿大学による支援は今後も継続される見通しで、「かわまたアンスリウム」のさらなる品質向上、生産性アップに期待が持てる状況となっています。

かわまたシルクとアンスリウム染め

展示館では、国内外に知名度の高い「かわまたシルク」と注目されている「かわまたアンスリウム」の融合により、新たな特産品を目指し、平成29年より試験・研究を重ね、アンスリウムの情熱的で鮮やかな生命力を色として抽出し、シルクの上品な艶やかさに重ねた作品を制作してきました。

renmen: 近畿大学文芸学部芸術学科造形芸術専攻染織ゼミ作品展について

今回の作品展におけるテーマを「renmen」(=連綿)としました。
かわまたシルクとアンスリウムの融合を持続可能なものとイメージしそのテーマのもとで染織ゼミの学生たちが、作品を制作しました。学生ならではの感性によって生まれた作品を「かわまたシルク×かわまたアンスリウム」の魅力と一緒にご覧ください。
染織ゼミにおいて、蓄積してきた展示や作品制作のノウハウと、川俣町のこれまでの取り組みとのコラボレーションによって、「かわまたシルク」と「かわまたアンスリウム」のさらなる魅力の発見に貢献できたらと考えています。
(近畿大学文芸学部芸術学科造形芸術専攻染織ゼミ一同)



かわまたおももの 展示館へのご案内

●電車・バスを利用

東北新幹線福島駅(東口)よりバスで45分
JRバス「川俣高校前行」で「シルクピア前下車」

●車を利用

東北自動車道二本松ICより30分
東北自動車道松川スマートICより30分